

令和6年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書
(対象年度：令和5年度)

高萩市教育委員会

目 次

I	はじめに	
1	趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	外部評価委員	1
II	点検及び評価結果	
1	教育委員会の活動	2
(1)	教育委員会の構成	2
(2)	令和5年度教育委員会月別開催状況	2
(3)	学校訪問	2
(4)	教育委員研修	3
2	教育委員会が管理・執行する事業	4
(1)	学校教育	4
(2)	生涯学習	18
(3)	スポーツ振興	22
(4)	市民文化	27
(5)	防犯	33
(6)	人権	35
III	外部評価委員会委員の意見	37
IV	参考資料	
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	38

1 はじめに

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに、公表しなければならないとされています。

このため、高萩市教育委員会では、法律の趣旨に則り、より効果的な教育行政の推進を図るため、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（令和 5 年度実績）」をまとめ、議会に報告するとともに公表することとします。

2 点検及び評価の対象

本市の市政運営の基本である第 6 次高萩市総合計画「地域力が笑顔をおもまち 高萩」及び教育委員会の運営の基本である「高萩の教育」における重点戦略を構成する施策のうち、令和 5 年度に教育委員会が実施した主な事務事業を点検及び評価の対象としました。

3 点検及び評価の方法

教育委員会が実施した事務事業を「1 教育委員会の活動」と「2 教育委員会が管理・執行する事業」に大別し、項目ごとに自己点検評価を行いました。

また、点検と評価の客観性を確保するために、事務局内部で実施した点検と評価報告について、教育に関し深い知識を有する者（外部評価委員）の意見を求めました。

4 外部評価委員

(敬称略)

氏 名	所 属
落 合 武	元高萩小学校長
長谷部 栄 子	市文化会館運営委員会委員
小 野 光 一	市スポーツ協会会長

II 点検及び評価結果

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の構成

職名	氏名	任期
教育長	大内 富夫	令和3年4月1日～令和6年3月31日
教育長職務代理者	小林 正治	令和4年10月1日～令和8年9月30日
教育委員	増子 恵美	令和2年10月1日～令和6年9月30日
教育委員	佐川 睦子	令和3年10月1日～令和7年9月30日
教育委員	山崎 貴志	令和3年4月1日～令和7年3月31日

(2) 令和5年度教育委員会月別開催状況

教育委員会では、付議された案件についての審議や報告等を行う定例会を毎月1回開催する他に、必要に応じて臨時会を開催しました。また、教育委員の意見交換や研修活動等の場として協議会を開催しました。

教育委員会では、27件の議案と6件の報告について審議しました。人事案件や教育委員会規則の制定又は一部改正等について慎重かつ迅速な審議が適正に行われました。これらにおいては、本市の教育行政について様々な視点から建設的に議論されてきました。

教育委員会では、第6次高萩市総合計画で示された主要施策である「未来を切り拓く地域人（萩っ子）が育つまち」等の実現に向けて、様々な事業の展開に努めてきました。

(単位 回)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
臨時会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2

(3) 学校訪問

教育委員会と学校現場が互いに共通認識を持ち、より良い学校教育を推進することを目的として、学校園訪問を実施しています。教職員が実際に指導している様子や子どもたちの様子を把握するとともに、学校及び園での取組や課題について意見交換を行っています。

月 日	場 所
5月17日	松岡小学校、東小学校
5月22日	高萩小学校、秋山小学校、秋山中学校、秋山幼稚園
5月23日	高萩中学校、松岡中学校、たかはぎ認定こども園

11月14日	松岡小学校、東小学校、松岡中学校、たかはぎ認定こども園
11月16日	高萩小学校、秋山小学校、高萩中学校、秋山幼稚園
1月15日	秋山中学校

(4) 教育委員研修

国・県・他自治体の取組等に触れる機会を設け、委員としての見識を深めるため、研修に参加しました。

月 日	場 所	内 容
5月16日	日立市役所	県北市教育委員会連絡協議会定期総会 ・ 県北管内の教育行政について ・ 各市教育委員会の現状と課題

2 教育委員会が管理・執行する事業

(1) 学校教育

一人一人の個性や能力、可能性を広げる教育内容を充実させ、生涯をよりよく生きるための豊かな心と健やかな体を持つ、いきいきとした荻っ子を育てます。

地域の特性や実態に合わせた指導体制や教育施設の充実に努め、豊かで安心して学べる教育環境を整備していきます。

事業名	① 教育環境の整備			
施策の内容	<p>○児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化等の実情を踏まえ、学校施設の適正な配置・整備を進めます。</p> <p>○国のGIGAスクール構想を踏まえ、ICT教育の環境整備と指導内容の充実に努めます。</p>			
担当課	教育総務課・学校教育課			
実施内容	<p>○教育環境の改善を図るため、松岡小学校及び東小学校体育館照明改修工事等を行った。また、熱中症対策及び災害時の避難所機能の強化のため、高萩中学校及び秋山中学校体育館の空調設備整備実施設計業務を行った。</p> <p>○ICT教育環境が整い、情報モラル教育や情報セキュリティに関する指導のほか、教職員向けのICT活用研修会を開催した。</p> <p>○ICT支援員が各学校週に1回程度訪問し、学習支援の充実、端末の操作支援及び障害トラブル等への対応を行った。また、長期休み等に教員を対象とした授業における活用方法についての研修を実施した。</p> <p>○児童生徒の減少により学校が小規模化することに伴い生じる様々な課題を解消するため、「高萩市立小中学校適正規模・適正配置実施計画」を策定した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○学校体育館における熱中症対策及び避難所機能の強化を図るため、令和7年度までに全ての小中学校体育館に空調設備を整備する。</p> <p>○高萩市立小中学校適正規模・適正配置実施計画に基づき、高萩小学校、東小学校及び高萩中学校の3校を統合する義務教育学校を整備するにあたり、施設整備基本構想・基本計画を策定する。</p> <p>○端末導入時から実施している、「事例で学ぶNetモラル」については、各校とも学級活動や総合的な学習の時間等で実施し、小学校では2,365回、中学校では1,498回CBTテスト（コンピュータを利用して実施する試験）を行った。一方で、保護者</p>			

	<p>向けに行ったオンデマンドによる情報モラル教育は、視聴回数が伸び悩んでいるという実態から、家庭を巻き込んだ情報モラル教育には課題が見られる。</p> <p>○教員のICT活用指導力は年々向上しているが、学習のねらいに沿った効果的な場面での活用については、情報教育研究部と連携し、定期的に研修会を実施することで、課題解決を図る。</p> <p>○秋山幼稚園とたかはぎ認定こども園の統合に向けて、園児が円滑に適応できるよう、両園園児の交流会を実施する。</p>
--	--

主要事業指標 (総合計画の 成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
小中学校幼稚園の 適正配置・整備	—	—	—	—	児童生徒により良い学習環境を提供するため、学校適正配置計画策定を進め、学校適正配置の具体化に向けた事業の推進を図る。
小中学校ICT教育環境 整備	—	—	—	—	国のGIGAスクール構想を踏まえ、ICT教育環境整備と運用方法や指導内容の充実に努める。

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○「高萩市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」から進んで、「高萩市立小中学校適正規模・適正配置実施計画」が策定された。今後は、高萩小学校、東小学校、高萩中学校を統合した義務教育学校の整備に向け、子どもたちが安心して学習に取り組めるような、具体的な施設整備基本構想、基本計画の策定が期待される。</p> <p>○「事例で学ぶN e tモラル」におけるC B Tテストが小学校で2,365回、中学校で1,498回実施されており、その実施回数からも情報モラル教育や情報セキュリティに関する指導が着実に進められていることが分かる。さらに、教職員向けのI C T活用研修会も開催されており、I C T教育が着実に実施されていることを高く評価したい。</p> <p>○「事例で学ぶN e tモラル」の保護者向け教材を活用し、引き続きオンデマンド方式による保護者対象の研修会も着実な実施をお願いしたい。</p> <p>○保護者向けの情報モラル教育は、オンデマンドで見るのはなかなか難しいと思うので、面倒でも手紙も併せて配付してはどうか。</p> <p>○使用していない元幼稚園は、耐震の問題もあるのだろうが何かに利活用できないか。松岡幼稚園のゆうぎ室でミニコンサートをしたことがあるが、とても音響が良かったので使わないのはもったいないと思う。コンサートだけでなく、公民館のように利用しても良いのではないか。</p>
------------------	--

事業名	② 確かな学力の定着			
施策の内容	<p>○訪問指導と定期的な研修を通して教員の授業力を向上させ、児童生徒の学力向上につなげていきます。</p> <p>○家庭学習については、課題の内容や与え方を工夫するなど、より実効性のある家庭学習の実現に向けて取り組みます。</p>			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○授業力の向上を目指し、教師が自分の授業動画を撮り、振り返りながら授業改善を図る「1人授業研究」を実施した。</p> <p>○3年目までの若手教員を対象に、授業力向上研修を実施し、学習指導案の立案、授業実践、研究協議を教科等指導員が指導、助言した。</p> <p>○茨城大学附属特別支援学校、同小学校の教員を講師として招き、教科等指導員3年目の教員による、授業公開及び参加者による研究協議を行った。</p> <p>○英語のアップサポート訪問では、担当教諭と指導主事による学習指導案の検討、授業実践・参観、研究協議を行った。</p> <p>○県の学力診断のためのテストでは、結果を分析し、課題となる教科や学年について、いばらきフォローアップ問題やアセスメント問題等を1人1台端末に配付し、いつでも取り組めるようにした。</p> <p>○市教委と情報教育研究部共催によるICT活用研修会を定期的実施した。各学校の情報教育担当者同士が情報交換したり、関係する業者を招いて研修をしたりするなど、情報教育の充実を図った。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○授業力向上研修及び学習指導法研修会については、教師の授業力の向上、資質能力の向上のために継続して実施していく。</p> <p>また、英語アップサポート訪問等の専門的な視点による指導を受けられる機会を積極的に活用し、指導力の向上を図る。</p> <p>○学校改善プランを活用しながら、RPDCAサイクルを確立し、児童生徒の学力の向上を図る。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
県学力診断テスト市平均点と県平均点との差 (小学校)	－	-4.2点	-2.6点	-3.9点	+0.5点
県学力診断テスト市平均点と県平均点との差 (中学校)	－	-5.7点	-5.3点	-2.9点	+0.5点
県学力診断テスト市平均点と県平均点との差 (英語)	－	-7.2点	-8.3点	-7.2点	0点

※令和2年度県学力診断テスト…新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○教師一人一人の授業力向上を目指し、教師が自らの授業を動画で撮影して振り返りながら授業改善を図れるよう「1人授業研究」を推奨し、全校に働きかけて着実な実施を進めており、その学力向上に向けた取組を高く評価する。</p> <p>○1人1台端末に、いばらきフォローアップやアセスメント問題をいつでも取り組めるように配付している。さらに、市教委と情報教育研究部共催のICT活用研修会を定期的実施しており、令和4年度より一歩進んだ取組を高く評価したい。今後は、市教委と各学校の情報教育担当者同士が連携し、効果的なICT活用の事例集を作成し、ノウハウを共有できるような取組が期待される。</p> <p>○「主要事業指標」における小中学校の「県学力診断テスト市平均点と県平均点との差」では、マイナスの領域にはあるものの中学校において大幅に向上している様子がうかがえ、授業改善の取組の成果であると思われる。小学校では、令和4年度よりマイナスとなってしまっており、各学校で引き続き課題が見られる箇所の改善策の立案と確実な実施ができるよう、今後も市教委からの具体的な指導助言をお願いしたい。</p>
------------------	--

事業名	③ 豊かな心の育成			
施策の内容	<p>○環境教育、ボランティア活動、体験学習等の幅広い学習機会を取り入れ、社会の変化に適応できる自主性・自立性のある児童生徒の育成に努めます。</p> <p>○児童生徒の取組を積極的に認め、称賛することで、自尊感情や自己肯定感を高めていきます。</p>			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○市内共通の生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」に取り組んでいる。(身だしなみ・掃除・挨拶・時間)</p> <p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動を推進したが、小・中学校ともに、前年度を下回る結果となった。 小学校4～6年：年間50冊以上 487人(84.6%) ※令和4年度 517人(88.7%) 中学校1～3年：年間30冊以上 118人(20.4%) ※令和4年度 129人(21.7%)</p> <p>○ハイパーQ Uアンケートを年に2回実施して、学級内の人間関係の把握に努めることで、より良い学級づくりといじめ防止につながった。各学校では、アンケート結果から特に支援が必要とされる児童生徒に、各授業や教育活動内で積極的に声かけをするなど、複数職員による見守りや関わりを大切にしている。</p> <p>○いじめ認知件数については、これまで以上に児童生徒同士の関わりを注視するために、ささいなトラブルもいじめとして積極的に認知したこと、子どもがSOSを発信しやすくなったこと、多くの大人に相談しやすい環境が整ったことで、小中学校ともに増加となった。 小学校：307件(28.1%) ※令和4年度 272件(24.3%) 中学校：113件(19.3%) ※令和4年度 48件(8%)</p> <p>また、スクールカウンセラーや心の教室相談員などと連携しながら対応した結果、年度末までにいずれも解消もしくは行為が止んで3か月間の経過観察の段階となっている。</p> <p>○道徳教育については、各校に1名位置付けている道徳教育推進教師を中心に、年間指導計画の見直しや授業実践、校内研修を実施するなど、学校教育活動全体を通して道徳教育の充実を図った。</p> <p>○特別支援学校との居住地校交流を実施した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」の取組については、各学校とも定着してきた。引き続き、訪問指導時や研修会を通して各校の取組について情報共有し、必要に応じて助言指導をし			

	<p>ていく。</p> <p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」を通して、読書活動を推進していく。また、小中学校に1名ずつ配置している、学校図書館事務職員を効果的に活用して、読書に親しむ環境づくりに努めたり、高萩市立図書館の電子図書の積極的な活用を促したりして、読書活動の推進を図る。</p> <p>○令和6年度からは、ウェブQ Uアンケートを実施する。効果的な活用のための研修会を実施し、児童生徒の実態把握に努めることで、いじめや不登校の未然防止、さらには魅力ある学級づくりに生かす。</p>
--	--

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
萩っ子5 (5つの約束)を意識した生活を送れた児童生徒の割合	84%	84.3%	84.6%	82.9%	88%
みんなにすすめたい一冊の本達成率 (小学校)	86.9%	84.7%	88.0%	84.6%	90.0%
みんなにすすめたい一冊の本達成率 (中学校)	29.3%	18.2%	21.7%	20.4%	20.0%
スクールカウンセラーへの相談回数	1,804回	2,267回	1,744回	2,515回	2,000回
心の教室相談員への相談回数	193回	196回	190回	195回	190回
萩のひろば支援員への相談回数	58回	66回	83回	50回	60回

※萩っ子5 (5つの約束)

1. 進んで学習します
2. 誰にでも優しくします
3. 明るく元気に過ごします
4. 高萩のよさを学びます
5. 夢に向かって行動します

※ハイパーQ Uアンケート…学校生活における児童生徒の満足感や意欲、学級集団の状態等を質問紙によって測定するもので、児童生徒の理解を補うとともに、学級の状態の客観的・多面的な理解に活用でき、いじめや不登校、学級の荒れ等の未然防止に役立つ。

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動の数値は、小・中学校ともに令和4年度より下回る結果となった。各学校の読書環境のさらなる充実と高萩市立図書館との連携の推進をお願いしたい。</p> <p>○令和5年度もハイパーQ Uテストの研修会が開催された。分析結果を学年・学級経営に生かす方策の立案し確実に実施できるように、各学校への働きかけを今後もお願いしたい。令和6年度からはウェブQ Uアンケートを実施するとのことで、その成果が期待される。</p> <p>○「主要事業指標」の数値において、スクールカウンセラーや心の教室相談員への相談回数が増えている。相談環境として児童生徒が担任以外にもS O Sを発信し相談しやすくなっていることが、その数値に表れていると考えられ、高く評価したい。いじめ認知件数の増加についても同様であると推測される。</p> <p>○「助けて！」と言える場所があること、相談しやすい環境があるのは、子ども達や保護者にとってとてもありがたいことだと思う。</p> <p>○「主要事業指標」の数値において、「萩っこ5（5つの約束）」の数値が下がった。各学校の教育目標や目指す子ども像があり、児童生徒も教師も5つの約束をいつも意識化するのは難しいと思われるが、主要事業指標での目標数値を掲げるのであれば、各学校のグランドデザインに「萩っこ5」の位置付けを図るなどして、意識化を図ってはどうか。</p>
------------------	---

事業名	④ 健やかな体力の向上			
施策の内容	<p>○体育の授業や部活動等を通して、児童生徒の体力の向上に努めます。</p> <p>○民間企業との連携による水泳学習、体育的行事、部活動、スポーツチャレンジ等を通して運動への興味関心を高めます。</p> <p>○安心な給食の提供及び食育の推進に努めます。</p>			
担当課	学校教育課・教育総務課			
実施内容	<p>○小学校では「投力アップチャレンジプラン」、中学校では「体力アップ1校1プラン」を作成し、年間を通して計画的に体力向上に努めた。</p> <p>○体育の授業においては、1人1台端末で手本となる動画の検索・活用、児童生徒同士が撮影した動画、映像再生遅延アプリの活用、学習カードの記入など、多様な手立てで体力向上に努めた。</p> <p>○小学校においては、交換授業を行うことによる体育免許所持教員の授業、はぎっズ応援隊による陸上指導など、専門性の高い指導を受ける機会を設けた。</p> <p>○民間企業との連携による水泳学習を小中学校において実施した。気象条件に左右されることなく実施することができ、インストラクターによる専門的指導を受ける機会を創出した。</p> <p>○部活動指導員を配置することにより、生徒への専門的な指導及び教員の負担軽減を図った。</p> <p>○学級活動や家庭科、保健体育科などにおいて、栄養教諭と連携して食の大切さを学ぶ学習を展開した。</p> <p>○給食の残食を減らすため、栄養教諭による児童生徒への声掛けや、食欲を促すメニューづくりに努めた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○体力アップ推進プランの確実な実施、分析を行い、自校の児童生徒の課題にあった活動を取り入れながら、柔軟に対応していく。</p> <p>○民間企業との連携による水泳学習は、小学校において概ね83%以上、中学校においては68%以上が入水し、児童生徒アンケートにおいても「泳力が向上したか。」という質問において高い数値が出た。引き続き、連携を図りながら進めていく。</p> <p>○部活動においては、休日地域移行を推進し、生徒の多様なニーズを踏まえた活動環境の整備を進めていく。</p> <p>○栄養教諭が各学校を訪問し、引き続き食に関する指導を実施する。また、給食主任会において、各校が実施している食に関する指導について情報共有を図り、お便りやマチコミ、授業公</p>			

	<p>開を通して、家庭における望ましい食育について呼びかけを行う。</p> <p>○給食センターと学校、教育委員会が連携し、安全安心な給食の提供に努めるとともに、積極的に地産地消の取組を推進する。</p>
--	--

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
部活動指導員配置校数	1校	1校	1校	2校	3校
学校給食の残食率	18.2%	19.2%	21.3%	16.3%	15.0%

外部評価委員の評価	<p>○体育の授業で、映像再生遅延アプリの活用など1人1台端末の効果的な活用が推進され、多様な手立てで体力向上に努めている様子がうかがえる。</p> <p>○伸ばす力を明確にし、一つに絞った「投力アップチャレンジプラン」、「体力アップ1校1プラン」を基に体力向上に努めたり、小学校における体育の交換授業、はぎっズ応援隊の活用等、効果的に体力向上に努めている様子がうかがえる。</p> <p>○民間企業との連携による水泳学習において、児童生徒アンケート結果の「泳力が向上したか」の質問で高い数値が出ており、インストラクターによる専門的な指導の成果と考えられる。</p> <p>○部活動指導員の配置により、生徒への専門的な指導と教員の負担軽減が図られている。予算の関係もあると思われるが、令和7年度の目標数値である全校配置に向けて配慮していただきたい。</p> <p>○栄養教諭による食欲を促すメニューづくり、給食だよりの発行、市ホームページへのその日の給食の画像及びメニューの掲載等、食育への丁寧な取組が大変素晴らしい。食育へのそうした取組が功を奏したのか、残食率が減少し令和7年度の目標数値に近づいており、高く評価したい。</p> <p>○給食の残食が少しずつ減ってきていることはとても良いと思う。学校での食育の時間に、親子で一緒に活動できる時間をたくさん作ってほしい。</p>
-----------	---

事業名	⑤ 開かれた学校運営			
施策の内容	<p>○全ての学校でのコミュニティ・スクール導入を契機として、学校、家庭、地域の連携をより一層密にして学校教育を推進します。</p> <p>○自殺・いじめ防止等の対策として、外部機関との連携を強化し、新たな学校支援体制の構築に取り組みます。</p>			
担当課	学校教育課・生涯学習課			
実施内容	<p>○各コミュニティ・スクールで行われている、年間5回の学校運営協議会では、それぞれが「地域で子どもを育てる」という意識をもち、特色を生かした運営に尽力した。</p> <p>○地域連携コーディネーター研修会を年間4回実施し、コーディネーターとしての役割を確認するとともに、地域学校協働本部リーダーと合同で研修会を実施するなど、連携を深める場を設けた。</p> <p>○地域連携推進計画及び地域連携年間計画の見直しと改善を行うとともに、計画をもとに地域と学校及び幼小中が交流した。</p> <p>○これまでの、はぎッズサポーター、地域子ども安全ボランティア、放課後子ども教室支援員を「はぎッズ応援隊」に統合し、リーダーを中心に、これまで以上に学校と地域が連携協力する体制を整えて活動することができた。</p> <p>○いじめ問題対策連絡協議会では、児童相談所職員や法務局職員、青少年相談員等が参加し、講話や各学校の取組について情報共有した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進を目指し、学校を核に地域の教育力を活性化できるようにする。</p> <p>○学校運営協議会では熟議を取り入れるなどして、目指す子ども像や地域の姿を明確にして活動していく必要がある。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
はぎッズサポーターを活用した回数	80回	981回	685回	-	1,000回

※令和5年度より、はぎッズサポーターは「はぎッズ応援隊」に統合されたため、実績値を測定できない。

※はぎッズ応援隊活動例

- ・授業支援、クラブ活動支援
- ・登下校の見守り
- ・放課後子ども教室（わんぱく広場）
- ・学校や地域行事の企画・運営

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○地域連携コーディネーター研修会の年間4回開催、地域学校協働本部リーダーとの合同研修、はぎっズ応援隊の活動等、外部機関との連携強化を図り地域の学校支援体制に努めており、その取組を高く評価したい。</p> <p>○地域で育てる「目指す子ども像」について、各中学校区で各学校のグランドデザインに反映されるように改善が図られるようお願いしたい。</p> <p>○コミュニティ・スクールが少しずつ形になってきて、とてもうれしく思う。応援隊リーダーが「できることをできる人が無理なくやりましょう」とよくお話されている。長く続けていくためには、とても大切なことだと思う。</p>
-----------------------	--

(2) 生涯学習

誰もが自由に学習機会を選択して学び、それを地域や家庭内で活かしていくことで、生きがいや充実感を持って暮らせる社会を目指します。

事業名	① 生涯学習機会の充実と地域・家庭の教育力向上			
施策の内容	<p>○多様化する市民ニーズに合った学習機会の充実と学習の成果を活かす環境づくりが求められており、学び合い、教え合う中で地域を考える活動が必要になります。</p> <p>○生涯学習の拠点となる公民館等において、市民のニーズを踏まえた講座等を企画します。</p>			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○市民の生涯学習活動の一助となる生涯学習情報誌「学びいきいき高萩2023」を作成し、関係機関等へ配付した。</p> <p>○「いきいき萩っ子育て事業」として、子と祖父母でバレンタインに向けたお菓子を作る「感謝を込めてHAPPYバレンタイン3世代deお菓子教室」を実施した。(9組21名参加)</p> <p>○コロナ禍で中止していた、友好都市である新庄市児童との交流事業「萩っ子歴史探検隊」を4年ぶりに開催した。また子ども達の健全育成を目的とした夏季事業「少年探検講座」「サマージャンボリー」を実施した。</p> <p>○商工会と協働し、やすんでっ亭において絵手紙やエコクラフト等5回の出前講座を開設した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後	○講座受講者や来館者にアンケート等を実施し、より多くの市民に参加していただける学びの講座設計を継続していく。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
公民館講座参加者数	1,479人	1,153人	1,291人	1,284人	1,500人
市民指導者登録数	60人	58人	55人	54人	60人

※公民館機能移転に伴い、公民館事業は令和6年度から生涯現役推進課へ所管替えとなった。

外部評価 委員の評価	<p>○市民のニーズに応じた多様な公民館講座が開設されており、その準備や運営等の努力が感じられる。「主要事業指標」の「公民館講座参加者数」は、令和4年度から若干下がっているが、「いきいき萩っ子育成事業」の取組や「萩っ子歴史探検隊」の4年ぶりの開催、「少年探検講座」、「サマージャンボリー」の実施等、生涯学習機会に関する取組全体を高く評価したい。</p> <p>○商工会との協働による「やすんでっ亭」での5回の出前講座の開設も、地域の教育力の向上に寄与しており、今後も継続していただくとともに、さらに参加者が増加するよう広報の工夫や強化が期待される。</p> <p>○講座を、子どもから年配の方まで幅広く利用できるように、時間帯、曜日、やりたいこと等のアンケートを募るのはとてもいい案だと思う。</p>
---------------	--

事業名	② 社会教育施設の整備と活用			
施策の内容	○社会教育施設の適正配置・管理体制を整え、市民に愛される施設として活用します。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○総合福祉センター内への中央公民館機能の移転について関係機関と連携調整し、滞りなく年度内に完了した。</p> <p>○さくら宇宙公園東側の古い公衆トイレを撤去し、多目的トイレを新設したことにより、公園利用者の更なる利便性の向上を図った。</p> <p>○食育、運動、座学（歴史等）、伝統文化等、様々なジャンルの講座を開設した。また、親子対象の講座も開設した。</p>			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○当課で所管する全施設において老朽化が進んでいる状況であるため、高萩市公共施設等管理計画及び高萩市公共施設個別施設計画を踏まえ、将来的な集約・廃止を見据えた施設管理・修繕・更新等をしていく。</p> <p>○総合福祉センターに移転した中央公民館と連携を図りながら、市民のニーズに合った学習の機会を提供していく。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
各種講座開設数	12 講座	18 講座	34 講座	41 講座	20 講座

※公民館機能移転に伴い、公民館事業は令和6年度から生涯現役推進課へ所管替えとなった。

外部評価 委員の評価	<p>○「主要事業指標」の各種講座開設数が毎年度増加しており、昨年度の34講座から41講座への増加は市民のニーズの把握を十分に把握した結果であると高く評価したい。</p> <p>○視聴覚ライブラリーの活用状況についても、今後は「実施内容」に加えて、活用者の増加のための取組なども「評価」の対象としていただきたい。</p>
---------------	--

(3) スポーツ振興

各種スポーツ教室や講習会等の充実及びスポーツ施設の適切な維持管理により、幅広い世代の市民が多種多様なスポーツ・レクリエーション活動へ参加できる機会の増加に努めます。

スポーツ振興団体と協力し、指導者研修や指導者の活用の促進、次世代の指導者の育成等に取り組みます。

事業名	①生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興			
施策の内容	<p>○特色ある講座やスポーツ・レクリエーション等様々な取組を展開し、幅広い世代の多くの市民が年齢や体力に応じ気軽にスポーツに親しめる環境を整えます。</p> <p>○指導者研修等により、市民ニーズに対応できる指導者の確保に努めます。</p>			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○市内小中学校の体育館や校庭等の体育施設を、学校教育に支障のない範囲内で市民へ開放を行った。学校体育館の開放については、利用団体間で調整を行い利用できた。</p> <p>○各種スポーツ大会や、イベント、教室等を実施した。</p> <p>○高萩市長杯争奪軟式野球大会やたかはぎ駅伝競走大会をはじめとした市内スポーツ大会を開催した。また、昨年同様、オンラインイベント「オクトーバー・ランアンドウォーク」に高萩市として参加し、市民の健康増進に寄与した。</p> <p>○全国小中学生ウエイトリフティング大会を高萩市文化会館において開催した。令和5年度においては、大会に関するグッズ等を作成し、来場者向けに販売を行った。</p> <p>○プロスポーツチーム関係事業については、フレンドリータウン協定を締結している茨城アストロプラネッツによる公式試合を市民球場にて開催した。また、本市がホームタウンに加入中の水戸ホーリーホックのホームゲーム内において、「高萩市の日」と題し様々な高萩市PRイベントを実施、併せて上記の告知イベントとして、市役所内にて選手によるサイン会を実施した。さらに、市内在住の小中学生に対し、高戸前浜海岸でのビーチサッカー教室を実施した。</p> <p>○中学校休日部活動地域移行については、軟式野球・バスケットボール・柔道・卓球の4競技に対して実施した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○ホームページやSNS等を活用し、各種団体と連携を図り、市内スポーツの普及啓発活動、並びに生涯スポーツ人口の増加に努める。</p> <p>○中学校休日運動部活動の地域移行については、令和8年度の</p>			

	<p>完全移行に向け、計画的に試行を実施する。</p> <p>○ウエイトリフティング競技力の向上を図るとともに、競技の普及啓発等に積極的に取り組み、スポーツ交流事業の増加と地域のスポーツ環境の向上を目指す。また、ウエイトリフティングの全国大会の開催を通じて街の活性化に努める。</p>
--	--

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
各種スポーツイベント 等への参加者数	3,200人	101人	1,203人	1,831人	3,500人

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○令和4年度と同様に高萩市長争奪野球大会、たかはぎ駅伝競争大会をはじめとした各種スポーツ大会、オクトーバー・ランアンドウォーク等のたくさんのイベントが開催されており、市民の健康増進につながっている。</p> <p>○全国小中学校ウエイトリフティング大会、茨城アストロプラネットの公式試合の開催は、市民のスポーツ観戦の絶好の機会となっている。また、ビーチサッカー教室では市内在住の小・中学生が参加し、幅広い世代の市民へのスポーツ教室の提供にもつながっており、幅広い世代の市民を対象とした各種イベントの開催は、今後も大いに期待される。</p> <p>○「主要事業指標」の「各種スポーツイベント等への参加者数」が1,831人と、昨年度を大きく上回っており、令和5年度の生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興への取組全体を高く評価したい。</p> <p>○部活動の地域移行に関しては、現在、休日の部分のみが示されており、平日は「学校部活動」、休日は「地域部活動」という状況になるため、地域指導者の掘りおこし等が必要と感じる。しかしながら、平日の見通しが示されない中においては、大変難しい課題であると思う。</p>
------------------	--

事業名	②スポーツ施設の整備と活用			
施策の内容	○幅広い世代の市民が、スポーツ施設を活用し、ライフステージに応じてスポーツ活動に取り組むことができるよう、計画的に各施設を整備します。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○各施設とも老朽化が進む中、必要に応じた修繕等を実施し、施設利用者が快適に利用していただけるよう整備に努めた。</p> <p>○市民体育館は、昨年度に引き続き屋根の修繕を行い、雨漏りの防止に努めた。</p> <p>○市民球場は、落雷により故障したスコアボードの修繕を行った。</p> <p>○サンスポーツランド高萩は、施設内の全面緑地管理及びグラウンド内土部分の整備、塁ベース部分の付け替えを行った。</p> <p>○高浜スポーツ広場は、テニスコート地盤沈下部分の補修、9月の線状降水帯による大雨の影響で発生したテニスコートのよれの修繕、施設内ブラインドの修繕及び多目的室のエアコン修繕等を行った。</p> <p>○石滝サッカー場は、劣化した人工芝の部分修繕を実施した。なお、「石滝サッカー場設置及び管理に関する条例内附則2」により、令和6年3月をもって石滝サッカー場は廃止となった。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○所管する全施設において老朽化が進んでいる状況であるため、高萩市公共施設等管理計画及び高萩市公共施設個別施設計画を踏まえ、将来的な集約・廃止を見据えた施設管理・修繕・更新等をしていく。</p> <p>○スポーツ推進計画に沿って各スポーツ施設の管理運営を進めていくと同時に、小中学校再編の状況を注視し、余剰となった学校施設等も利用する計画を策定する。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
スポーツ施設利用者数	102,217人	116,350人	146,897人	152,235人	100,000人

外部評価 委員の評価	<p>○各施設の老朽化に伴い、利用者が安全で快適に使用できるよう、市民体育館、市民球場、サンスポーツランド高萩、高浜スポーツ広場等の施設や物品の修繕が適切に実施されている。</p> <p>○「主要事業指標」の「スポーツ施設利用者数」が2年連続増となっており、令和4年度比約5千人の増という結果は大変素晴らしい。</p>
---------------	---

(4) 市民文化

創作・発表の場があり、文化団体やグループ・サークル活動が活発に行われるなど、文化活動が充実した社会を目指します。

郷土の歴史や文化財を知り、身近に触れることができ、郷土に関心が持てる環境を整えます。

市内の指定文化財の適切な保護・保存・活用を進め、本市の歴史や文化財に興味・関心を持つ市民を増やします。

外国人との交流や外国文化に触れる機会を増やし、異文化への関心を高めていきます。

事業名	①芸術文化の振興			
施策の内容	○市民のニーズに合った芸術・文化活動を身近に感じられるよう、芸術文化活動への支援の充実を図ります。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○高萩市文化協会が主催する文化祭については、4日間にわたり展示・ステージ発表を行った。また、各団体において会員の勧誘に努めている。</p> <p>○中央公民館まつりを開催し、日頃のクラブ活動の発表の場を提供した。公開講座やミニコンサート等も行い、4,000人を超える集客があった。また、松岡地区公民館では「オープンクラブ」を開催し、一般の方にクラブ活動を自由に見学していただく期間を設けた。見学者がクラブに加入する等、学びの輪が広がった。</p> <p>○文化会館においては、「國井美香ソロコンサート&ワークショップ」「市民音楽祭」「ひな祭りコンサート」や映画会など6本の自主事業を開催した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○文化団体に、幅広い年齢層からの参加を呼びかける。また新たな活動場所を提供し支援する。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた子ども文化教室一日体験講座の再開に向け、関係団体と協議していく。</p> <p>○幅広い年齢層にアプローチできる文化会館自主事業を検討する。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
文化祭の参加者数	2,710人	－人	1,320人	1,500人	2,710人

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○中央公民館まつりでは、日頃のクラブ活動の発表の場を設けたり、公開講座やミニコンサートを行ったりして、4,000人を超える集客があったことは大変素晴らしい。「主要事業指標」の実績値も増加しており、企画、広報、参加への働きかけ等の成果の表れだと思う。</p> <p>○公民館のクラブ活動を自由に見学できるようにし、クラブへの加入意欲を高めたり学びの輪を広げたりした松岡地区公民館での「オープンクラブ」は、とても効果的な取組であり、今後の継続的な取組を是非お願いしたい。</p> <p>○少しずついろいろなイベントができるようになってきて良かった。「子ども文化教室一日体験講座」も、子どもだけではなく親も一緒に体験することで親子の時間も作れて、親も体験したことで習い事してみたいというきっかけになるかもしれないと思う。</p>
-----------------------	--

事業名	②文化財の保護・保存・活用			
施策の内容	○郷土の貴重な文化財を保存・伝承するとともに展示や周知することにより、市内にある文化財の価値や魅力を広く発信します。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○令和2年9月に、長久保赤水関係資料693点が国の重要文化財に指定されたことにより、文化財の継承と適切な保存のため、保存修理を行っている。令和5年度末現在で重要文化財に指定された資料のうち10点の修理が完了した。</p> <p>○歴史民俗資料館において、令和6年4月からの愛称「長久保赤水記念館」の追加に向け、看板や解説パネルの作製、トイレ洋式化工事などの館内環境整備を行った。</p> <p>○穂積家住宅については、トライアル・サウンディング事業として期間限定カフェレストランを実施した。</p>			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○長久保赤水関係資料の修理については、国の補助を活用し、令和3年度から8か年計画で33点の修理を行う。</p> <p>○修理により得られた知見を広く発信するとともに、国補助以外の財源確保に努める。</p> <p>○歴史民俗資料館に愛称「長久保赤水記念館」を追加し、長久保赤水の顕彰事業を推進する。</p> <p>○穂積家住宅の新たな利活用方法を検討する。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
高萩市歴史民俗資料館の入館者数	3,010人	1,152人	1,511人	1,793人	3,600人

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○長久保赤水関係資料の修理、穂積家住宅での期間限定カフェレストランが実施等、順調に文化財の保護・保存・活用が進められている。</p> <p>○「主要事業指標」の「高萩市歴史民俗資料館の入館者数」について、1,511人から1,793人と令和4年度から引き続き増加しており、長久保赤水の魅力や功績等の発信が功を奏していると感じられる。</p> <p>○「長久保赤水記念館」の看板は大変見やすい図案であり、設置場所も適切だと思う。</p>
------------------	---

事業名	③ 市民による国際交流推進			
施策の内容	○ 市内外の外国人との交流や外国文化に触れる機会の増加に向け取り組みます。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○ 新型コロナウイルス感染症等の影響により、高萩市国際交流協会主催の「高萩国際交流の集い」、市内中学生の「海外派遣事業」などの事業が開催できなかった。 ○ 国際交流協会会員やボランティアなど支援者を集め、7月より市内在住・在勤の外国人を対象にした日本語教室を立ち上げた。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○ 海外派遣事業の内容について検討を行う。これまで交流してきた先方担当者の退職に伴い、交流がなくなってしまったため、訪問先や実施プログラムの再考を迫られている。今後は、短期留学などのノウハウを持つ旅行会社への業務委託等の方法を視野に入れ、高萩市国際交流協会と協議していく。 ○ 高萩市国際交流協会と協働して、外国文化に触れる機会や市内在住外国人との交流を創出する。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
「高萩国際交流の集い」 参加者数	20人 (留学生) 15家族 (HF)	—	—	—	20人 (留学生) 18家族 (HF)

外部評価 委員の評価	○国際交流協会会員やボランティアの方々、生涯学習課の努力が実を結び、市内在住・在勤の外国人を対象にした日本語教室が7月から月に1度開催されており、大変素晴らしい。今後は、日本語教室からさらに文化交流会や世界の料理等の国際理解や国際交流に発展できるような取組をお願いしたい。
---------------	--

(5) 防犯

警察等の関係機関と連携し、防犯に関する広報や啓発活動を通して市民の防犯意識の高揚に努め、地域ぐるみの防犯・地域安全活動を推進します。

事業名	学校外での子どもの安全確保と健全育成			
施策の内容	○子どもたちが事件や事故に巻き込まれることがないように、ボランティア等による見守り活動の実施や、青少年相談員による相談・巡回活動の充実を図ります。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○はぎッズ応援隊等による登下校時の立哨指導を行った。</p> <p>○ながら見守りを実施した。</p> <p>○防犯協会等による地域安全キャンペーンを実施した。(総務課所管)</p> <p>○青少年相談員による巡回活動や、防犯のぼり旗の設置を行った。</p> <p>○体験活動を通して子どもたちの健全育成を図る「少年探検講座」を開催した。</p> <p>○防災無線を活用し、ながら見守りを呼びかけた。(教育総務課)</p> <p>○メルたか、まちこみメール等を活用し、防犯情報の提供を行った。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○「地域の子どもたちは地域で守る」を合言葉に、各種団体が子どもたちの安全確保に様々な活動をしているところであるが、市の所管が多部署にわたることから統一的な活動が困難な部分がある。行政、学校、ボランティア団体等の全体で情報や活動の共有を図っていくことが課題となっている。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
地域子ども安全ボランティア登録人数	43人	34人	37人	25人	60人

※ R5の登録人数については、「地域子ども安全ボランティア」の組織を改編したため、「はぎッズ応援隊 見守りボランティア」の登録人数とした。

外部評価 委員の評価	○実施内容の一つ一つが学校外での子ども安全確保につながっており、高く評価したい。
---------------	--

(6) 人権

市民一人ひとりの人権が尊重されるまちを構築します。

事業名	学校における人権教育の推進			
施策の内容	○学校教育や生涯学習などの場において人権教育を実施し、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解を深める学習に取り組めます。			
担当課	学校教育課			
実施内容	○各学校が作成する人権教育推進全体計画をもとに、教育活動全体において、人権教育を推進した。 ○各学校において、人権に関する図書を増やしたり、人権コーナーを設置したりするなど、人権教育の涵養に努めた。 ○人権問題啓発映画「ホーム」の視聴や人権感覚チェック表を活用した教職員研修を行った。また、市内教職員全員が参加する研修では、性的マイノリティについての講演を聴講し、理解を深めた。 ○中学校では、性的マイノリティへの理解促進に関する講師派遣事業を活用し、講演会を実施した。 ○松岡地区では、県の委託を受けて人権教育総合推進地域事業に取り組む、人権教育講演会や人権教室など、体験的な活動を展開した。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○児童生徒及び教職員が、人権教育は教育活動の根幹を担うという理解を示し、あらゆる場面で行動実践できるようになることが課題である。 ○これまでの人権問題に加え、新たな人権問題にも視点をあてながら、性的マイノリティサポートチームによる働きかけなど、学校における人権教育を推進していく。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値			目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	(R5)	
人権が尊重されているまちであると思う市民割合	45.6%	-	-	-	60.0%

※人権課題

- ①女性 ②子ども ③高齢者 ④障害者 ⑤同和問題 ⑥アイヌの人々
⑦外国人 ⑧感染者等 ⑨ハンセン病患者等 ⑩刑を終えて出所した人
⑪犯罪被害者 ⑫インターネットによる人権侵害 ⑬北朝鮮当局による拉致問題
⑭ホームレス ⑮性的指向、性自認 ⑯人身取引 ⑰東日本大震災

外部評価 委員の評価	<p>○教職員対象の性的マイノリティに関する講演会、人権問題啓発映画「ホーム」の視聴、人権感覚チェック表を活用した研修の実施、「性的マイノリティへの理解促進に関する講師派遣事業」を活用した中学生への講演会の実施等、人権教育の推進が着実に進められており、大変素晴らしい。</p> <p>○松岡地区での「人権教育総合推進地域事業」の取組について、引き続き市内各校がその成果を共通実践できるようにお願いしたい。</p>
---------------	--

Ⅲ 外部評価委員会委員の意見

○「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」は大変よくまとまっている。全体的に各事業の施行内容に係る実施内容は良好であり、高く評価する。

○市民生活に定着し、「目標値」の着実な向上につながっている取組が多く見られる。今後も各部署の「課題と今後の取組」に沿った取組の継続を期待している。

○これまでの指摘を受け、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」の各事業の「実施内容」の記述に関して、その成果や変化が分かる具体的な記述に改められてきていることを高く評価する。今後も継続をお願いしたい。

○ICTに係る教育環境が整備され、着実にICT教育が実施されていることを高く評価する。

IV 参考資料

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。